

フォーカス・インタビューとディス カッショニン

方法

- グループ・インタビュー：低成本で大量の情報を取り得
- グループ・ディスカッション：意見が出る、議論が形成されるグループ・ダイナミックスの発見
- フォーカス・インタビュー：上記に同じ（英米）
- ほぼ同じ方法：通常のインタビューが指示的・人工的 対して、日常生活の会話に近い：但し、程度問題（グループの性質・状況による）

共同ナラティブ: 現実は共同で形成される

- ・ 司会: 話題の舵取り、ダイナミクスの舵取り
- ・ 長所と短所: 展開の予測不能、落ち付け所が分からず、大量のテキストデータ(整理に時間がかかる)
- ・ 問題の所在が不明な場合、問題発見的設問に有効 確実な個別データ取得には向かない